

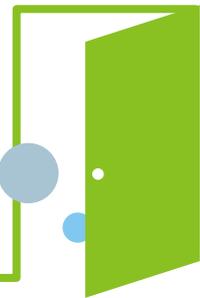
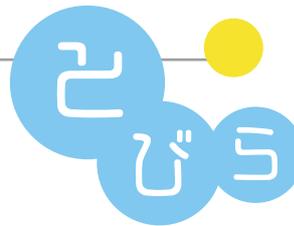
特集 新型コロナウイルス感染症への市議会の取り組み



使用済核燃料税条例 経年累進課税化の審議

柏崎市議会だより

ギカイの



No. 181 令和2(2020)年 8月5日

今回の表紙

市長に申し入れをする市議会

減額する予算を新型コロナウイルス感染症対策の財源に活用いただきたいと、議長・副議長と会派代表が市長に申し入れました。(場所：市役所 市長応接室)

もくじ

■ 特集《新型コロナ》	P 2・3
■ 使用済核燃料税条例	P 4～7
■ 政務活動費会計報告	P 8
■ 議案審議結果	P 9
■ 常任委員会報告・賛否一覧	P 10・11
■ 一般質問	P 12～14
■ ギカイのうごき	P 15
■ 9月定例会議日程ほか	P 16

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/shigikai/>



市民の思いを届けました

《3月4日の要望事項》

- ▶ 市民への情報提供も含めた適時適切な感染症拡大防止の対応
- ▶ 学校休業における子どもたちの安全安心への配慮と柔軟な対応
- ▶ 市内地域経済の実情把握と、支援策や相談窓口の充実等、個人事業主に対するきめ細やかな対応

《5月1日の要望事項》

- ▶ 市民のニーズに合わせた適時適切な情報提供
- ▶ 感染拡大防止に関する周知継続と、市内企業に対する取り組み喚起
- ▶ 市独自の経済支援対策と雇用・就職支援策の検討
- ▶ デマやうわさに対する市民への配慮
- ▶ 教育環境の整備
- ▶ 外出・接触機会削減の支援策
- ▶ 虐待・家庭内暴力防止などの相談体制の充実

特集

《新型コロナ》

新型コロナウイルス感染症への 市議会の取り組み

市議会では「新型コロナウイルス感染症に関する対策支援本部」を設置し、取り組んでいます。市長に対する要望や申し入れなどを行いました。



▲ 5月1日の要望（左から近藤教育長、櫻井市長、真貝議長、佐藤副議長）

（注）誌面の都合により「新型コロナウイルス感染症」を「新型コロナ」または「コロナ」と省略する場合があります。

時機を逃さず対応しています



▲医療従事者への感謝と応援の気持ちを伝える
ブルーライトアップ（文化会館アルフォーレ）

議会活動費の減額を決定 ～使途について市長に申し入れました～

新型コロナウイルス感染症対策に多額の支出が見込まれることから、議会として次のことを決定しました。

- 委員会の行政視察を中止する。
- 政務活動費を減額する。

この決定により減額する議会活動費約900万円を新型コロナウイルス感染症対策の財源として活用いただくよう、6月5日に市長に申し入れました。

《市議会の感染防止策》

- ▶ 発言時を含めた議場でのマスク着用、一般傍聴の自粛要請、報道機関への適正人数による取材の申し入れ（4月19日から）
- ▶ 出席者の制限など「3密」を避ける会議運営の実施（5月15日から）
- ▶ 一般質問1人ごとに議場の換気を実施（6月定例会議）

《専決処分事項の指定の追加を議決》

5月1日の本会議において、専決処分事項の指定に「感染症の拡大等に伴い、緊急に必要となる事業等に関する歳入歳出予算の補正をすること。」を追加することを議決しました。

《市議会の主な動き》

22日	6月1日	22日	20日	18日	15日	14日	12日	5月1日	25日	24日	22日	18日	4月16日	17日	6日	4日	3日	3月2日	29日	2月28日
補正予算議決（6月定例会議）	市長へ申し入れ 補正予算議決（6月定例会議）	会派代表者会議 補正予算議決（5月随時会議）	会派代表者会議	PCR検査センター開設	議会運営委員会	新潟県の緊急事態宣言解除	補正予算専決処分 市長へ要望	補正予算議決（5月随時会議） 国・関係機関へ意見書送付	対策支援本部役員会議 市内で感染者1名確認	補正予算議決（4月随時会議） 対策支援本部役員会議	市内で感染者2名確認 市内で感染者1名確認	新潟県に緊急事態宣言 市内で感染者1名確認	対策支援本部役員会議 国・関係機関へ意見書送付 市長へ要望	対策支援本部役員会議 議会全員協議会 市長へ要望	対策支援本部設置 市対策本部設置	県内で初の感染確認 市対策本部設置	市警戒本部設置	会派代表者会議	市警戒本部設置	

全国で初めての 経年累進課税化

～「使用済核燃料税条例」案を可決しました～

使用済核燃料税条例の「経年累進課税化」について、3月随時会議を開催し、集中審議を行いました。3月随時会議は、令和2（2020）年3月31日から4月21日の日程で開催しました。

この条例は、基本税率を引き上げるとともに、経年累進課税分の税率を加算して課税するものです。

経年累進課税の対象

次の全てに当てはまる使用済み核燃料

- 原子炉設置者（現在は東京電力ホールディングス株式会社のみ）が保管を開始した日から起算して15年以上経過した使用済み核燃料
- 使用済燃料貯蔵施設等へ搬出することが可能になったことについて、市長と原子炉設置者が合意した年の翌年以降の賦課期日において保管する使用済み核燃料

経年累進課税分の課税期間

- 経年累進課税の対象となってから、使用済燃料貯蔵施設等へ搬出されるまでの間

【現行の税率】

【本条例施行後の税率】



▶ 市議会は、市当局に対して、「これまでの経過」「基本税率の算出根拠」「経年累進課税分の算出根拠」「事業者との合意文書」などの資料を求め、審議しました。

▶ 平成15（2003）年に、当時全国で初めて制定した現行の使用済核燃料税条例（基本部分のみ）を廃止し、新しい条例（基本部分+経年累進課税分）を制定しました。

会派質疑で問う

【使用済核燃料税条例案】

使用済核燃料税条例について、会派の代表者が質疑を行いました。詳細については、市議会ホームページでご確認ください。

会派質疑の映像は
こちら



※会派質疑は4月17日に行いました。発言時はマスクを外していますが、議席ではマスクを着用しています。

民友



相澤 宗一

- ① 使用済核燃料税の性格について
- ② 累進分の課税客体について
- ③ 減免条項について

社会クラブ



星野 幸彦

- ① 使用済み核燃料の保管に関して
- ② 本条例の実効性について
- ③ 再稼働の条件について

自治研究会



布施 学

- ① 使用済核燃料税条例についての総務省の見解
- ② 使用済核燃料税経年累進課税と数表で見る東京電力ホールディングス株式会社

柏崎のみらい



佐藤 正典

- ① 使用済核燃料税条例の制定時期、課税条件等について
- ② 使用済核燃料税の経年累進課税化が及ぼす影響等について
- ③ 新潟県の考え方と県民の認識について
- ④ 使用済み核燃料の搬出の可能性について

公明党



若井 恵子

- ① 財政需要について
- ② 課税期間の考え方について
- ③ 経年累進課税発生の合意条件について
- ④ 原発財源と今後の財政運営の考え方について

柏盛クラブ



重野 正毅

- ① 搬出先施設等の稼働の見通しと状況について
- ② 本条例への他自治体の見解について
- ③ 条例内容の見直し期間について

柏崎の風



柄沢 均

- ① 使用済核燃料税の目的について
- ② 財政需要の内訳について
- ③ 税率の積算根拠について
- ④ 経年累進課税分の使用済み核燃料について
- ⑤ 課税期間について
- ⑥ 施行後5年ごとの検討について

日本共産党柏崎市議員団



持田 繁義

- ① 使用済核燃料税経年累進課税条例制定の目的について
- ② 使用済み核燃料の処理・処分は、当初から設計図がなかったのではないかと
- ③ 国の責任を明確にするとともに国民的議論を促すべきではないかと

ほか

私たちはこのような理由で

賛成しました



反対しました

社会クラブ

社会クラブは反対の立場で討論する。

核燃料サイクルや高レベル放射性物質の処理が難航している中、経年累進課税をすることによって使用済み核燃料のサイト内保管を許さざるを得なくなることを懸念する。柏崎市が使用済み核燃料の長期的な保管場所、核のごみの捨て場所になってしまうのではないかと。東電が条例に同意した本意は、再稼働のためではないか。

反対



笠原晴彦

柏崎の風

賛成の立場で討論する。柏崎市の人口は減少することが予測でき、財政が緊迫するとともに、ごみ処理場建設も視野に入れなければならない。

使用済み核燃料1キログラムにつき480円から620円へ税率を引き上げ、1億6800万円の増収を図ることや経年累進課税の導入で国への問題提起を行う必要があり、増税分は福祉の向上や人材育成、柏崎の経済発展につなげていただきたい。

賛成



阿部 基

日本共産党柏崎市議員団

東電が同意した意見は、再稼働を前提としている。本税の原資は国民が支払う電気料金。国民負担によって柏崎市の税収を確保することになる。使用済み核燃料の処分手段・方法は、既定路線に捉われず、専門家の英知を結集し研究・開発を進める。結論が出るまでは、政府の責任で厳重な管理を求めること。使用済み核燃料の「追い出し」というが、稼働すれば新たに増える。「廃炉を明確にする」ことが最も適切な方策。

反対



持田繁義

柏崎のみらい

①使用済み核燃料の長期保管は認めない、放置されている危険性、リスクを下げるという条例の目的は共有できる、②危険な原発に過度に頼らない、将来にわたる新たな市財政への構造転換という方針が堅持されていることを評価する、③危険な原発があるが故に発生する市の新たな財政需要が示されている、④本議案を6・7号機の再稼働の前提条件にしていけないとの市長の明確な答弁を確認したので賛成する。

賛成



飯塚寿之

柏盛クラブ

原発立地自治体として原発の管理運営に異常が認められる場合、正常に戻すよう正すことは原発立地自治体の大きな役割である。現状の柏崎刈羽原子力発電所の使用済み燃料プールは全体の貯蔵率が81%、原発事業者が再稼働を目指す6・7号機のプールは今にも溢れんばかり、異常である。この度の条例改正は、使用済み核燃料プールの異常を正常に戻すことに資する、立地自治体の役割を果たしていると評価する。

賛成



三宮直人

民友

2つの意見を付して賛成する。

①市民福祉の向上に係る本税の使い道を分かりやすく示し、柏崎市の財政が原子力発電所との共生により成り立つことを、市民の皆さまと共有していただきたい。

②使用済み核燃料がエネルギーを生み出す資源として本来の役割を果たせるよう、核燃料サイクルの推進を国に対して強く訴えていただきたい。

賛成



近藤由香里

公明党

税条例の目的、財政需要や税条例の仕組み、使用済み核燃料の保管状況や経年累進課税の賦課がスタートする合意条件、再稼働との関連性など多岐にわたり確認をした。特定納税義務者である東京電力が同意していること、法的にも問題がないこと、そして何より市民の安全・安心、市民の豊かさにつながることを目的としていることを評価し、賛成する。

賛成



若井恵子

私たちは



賛成 × 反対 しました

議員賛否一覧（3月臨時会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	三宮直人	重野正毅	樋口良子	持田繁義	星野幸彦	秋間一英	田邊優香	白川正志	笠原晴彦	村田幸多朗	布施学	近藤由香里	山本博文	阿部基	佐藤正典	飯塚寿之	荒城彦一	相澤宗一	佐藤和典	若井恵子	真貝維義	春川敏浩	柄沢均	上森茜	星野正仁	齋木裕司
4月21日	使用済み核燃料税条例	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

○は賛成

×は反対

真貝維義議長は採決に加わりません。

政務活動費会計報告

令和元(2019)年5月～令和2年(2020)年3月

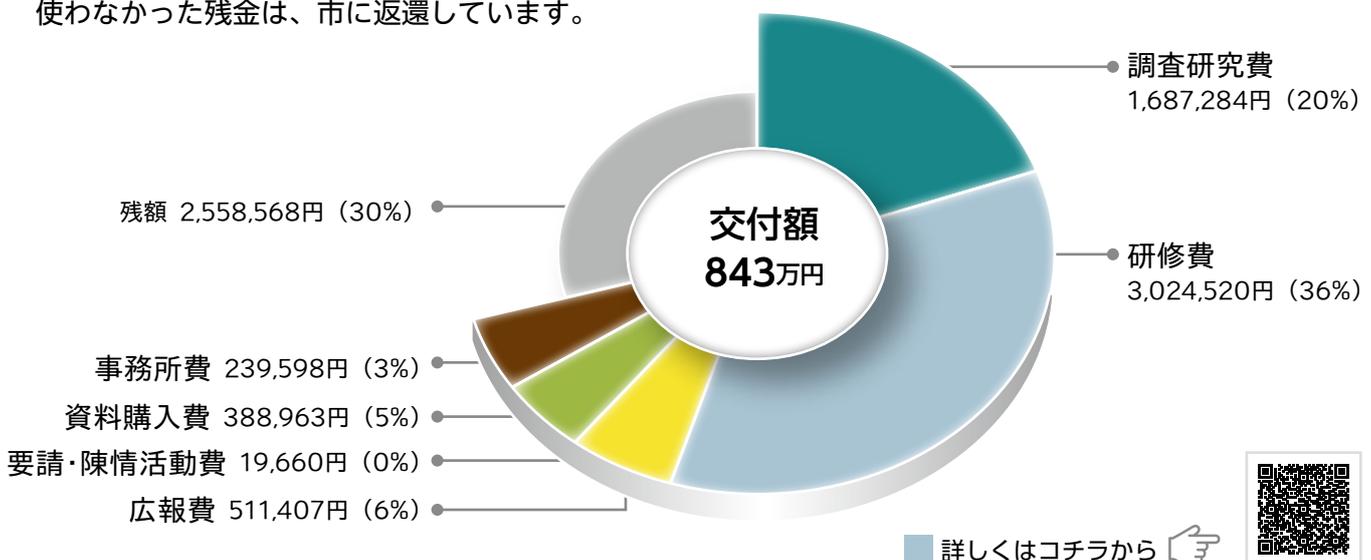


柏崎市では、市議会の会派が行う市政に関する調査研究などの活動に対し、政務活動費を交付しています。

議員1人当たり年36万円(月額3万円)を会派に交付しています。令和元(2019)年度は改選があったので、5月以降(11カ月分)の政務活動費について報告します。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で2・3月に予定していた活動を自粛したため、当初の見込みに比べて支出額が減少しました。

使わなかった残金は、市に返還しています。



政務活動費収支報告額一覧

(単位:円)

会派	所属議員	交付額	支出額	残額
民友 ^{*1}	近藤由香里、相澤宗一、佐藤和典	840,000	693,656	146,344
日本共産党柏崎市議員団	樋口良子、持田繁義	660,000	538,752	121,248
自治研究会	村田幸多朗、布施 学	660,000	9,980	650,020
社会クラブ	星野幸彦、秋間一英、笠原晴彦	990,000	638,316	351,684
公明党	若井恵子、真貝維義	660,000	555,038	104,962
柏崎のみらい	佐藤正典、飯塚寿之	660,000	574,224	85,776
柏盛クラブ	三宮直人、重野正毅	660,000	297,600	362,400
柏崎の風	田邊優香、白川正志、山本博文、阿部 基、春川敏浩、柄沢 均、上森 茜、星野正仁、斎木裕司	2,970,000	2,366,060	603,940
平成会 ^{*2}	荒城彦一	330,000	197,806	132,194
合 計		8,430,000	5,871,432	2,558,568

令和2(2020)年3月末現在の所属議員を掲載しています。

※1 民友は令和元(2019)年10月1日に1人加入

※2 会派に所属しない議員は1人会派とみなして、政務活動費を交付しています。

こんなことが 決まりました

4月随時会議・5月随時会議・6月定例会議 議案審議

Pick up

新型コロナウイルス感染症対策として 総額97億4586万円の補正予算を議決しました

内訳と主な事業は、次のとおりです。総額の内、一般財源は10億4127万9000円です。

補正予算議決日・専決処分日	議決額
4月24日(4月随時会議)	5828万6000円
5月1日(5月随時会議)	84億2831万2000円
5月12日(市長専決)	2億5000万円
5月22日(5月随時会議)	2億3180万2000円
6月5日(6月定例会議)	1400万円
6月22日(6月定例会議)	7億6346万円

◎柏崎市独自の経済対策 合計8億3720万円

- ・緊急経済対策事業 **3億4100万円**
事業継続支援補助金〔5/22〕、製造業などに対する補助金など〔6/22〕
- ・緊急景気対策事業 **3億1400万円**
小規模事業者経営支援補助金〔4/24・5/12〕、元気発信プロジェクト事業〔6/22〕
- ・県信用保証協会負担金 **1億1400万円**
県信用保証協会保証料負担金〔6/22〕
- ・宿泊事業者緊急支援事業 **5000万円**
宿泊事業者緊急支援金、旅行業者緊急支援金〔5/22〕
- ・緊急雇用対策事業 **1500万円**
緊急雇用安定給付金〔4/24〕
- ・柏崎元気発信応援事業 **320万円**
柏崎の元気発信応援プロジェクト〔4/24〕

◎主な個人向け給付事業

- ・特別定額給付金給付事業 **82億5000万円** 1人当たり10万円〔5/1〕
- ・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 **9400万円**
児童手当支給対象者に対し対象児童1人当たり1万円〔5/1〕
- ・ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業 **7850万円**
支給対象者に対し1世帯当たり5万円、第2子以降1人につき3万円など〔6/22〕

※〔 〕内は、補正予算議決日・専決処分日です。

他に審議された内容はコチラから



総務常任委員会

■委員長 相澤宗一 ■副委員長 春川敏浩
 ■委員 持田繁義・笠原晴彦・布施 学・山本博文・飯塚寿之
 若井恵子・上森 茜

令和2（2020）年6月定例会議では、議案9件を審査しました。
 主な質疑について報告します。

▼令和2（2020）年度一般会計補正予算 （第9号）

- ・災害対策事業（339万5000円）

事業の概要

避難所における新型コロナ対策に備えるため災害時備蓄品を購入する。

主な質疑

- Q 災害時備蓄品として購入する段ボールベッド、パーティション等は、どのような整備をするのか。また、どこに配備するのか。
- A 段ボールベッド100セット、パーティション100セット、非接触型体温計126個を購入し、優先開設避難所63カ所への配備を予定している。ただし、災害の

規模によっては不足することも想定されるので、新潟県が購入している資機材（パーティション、段ボールベッド、マスク、消毒液等）を活用する連携を考えている。併せて、流通備蓄を視野に入れた調達方法も検討している。



文教厚生常任委員会

■委員長 柄沢 均 ■副委員長 重野正毅
 ■委員 樋口良子・秋間一英・田邊優香・近藤由香里・佐藤正典・星野正仁

令和2（2020）年6月定例会議では、議案4件と請願2件を審査しました。
 主な質疑について報告します。

▼令和2（2020）年度一般会計補正予算 （第9号）

- ・ICT環境整備事業（小学校費：1億8483万8000円）（中学校費：1億2052万6000円）

事業の概要

国の「GIGAスクール構想」における「1人1台端末」環境の早期実現や家庭でもつながる通信環境の整備など。

主な質疑

- Q タブレットの導入時期、活用の方向性について伺う。
- A 小学1・2年生は現在設置されているパソコンを使用し、小学3年生から中学3年生まではタブレットを導入する。導入時期は現時点では未定。通信環境が整っ

ていない家庭にはモバイルルーターを貸与する。その際、低所得世帯への通信費の補助も検討している。

学校でルールやモラル、オンライン授業ができるよう指導する。また指導者の質を高めるための研修を実施する。学校間の交流や不登校児の学習指導へ活用の幅を広げていく。



産業建設常任委員会

■委員長 三宮直人 ■副委員長 阿部 基
 ■委員 星野幸彦・白川正志・村田幸多朗・荒城彦一・佐藤和典・齋木裕司

令和2（2020）年6月定例会議では、議案6件を審査しました。
 主な質疑について報告します。

▼令和2（2020）年度一般会計補正予算（第9号）

・緊急景気対策事業（3400万円）

事業の概要

スタンプラリーなどで新型コロナの影響を受けている小売サービス事業者を支援する。

主な質疑

- Q 元気発信プロジェクト実行委員会負担金の算出根拠について伺う。
- A 平成29年に実施したプロジェクトを参考にしたが、景気の状態を見ながらさらなる事業を追加する。

・緊急経済対策事業（1億7100万円）

事業の概要

奨励金、利子補給金などで新型コロナの影響を受けている製造事業者を支援する。

主な質疑

- Q 補助金の支給時期について伺う。
- A 事業報告を提出し、国の確定通知を受けた後に支給となる。



元気発信スタンプラリーを実施



委員会の録画映像は **YouTube** で
 見ることができます

私たちは



賛成 × **反対** しました

議員賛否一覧（6月定例会議の採決において賛否が分かれた議案など）

議決日	議案	三宮直人	重野正毅	樋口良子	持田繁義	星野幸彦	秋間一英	田邊優香	白川正志	笠原晴彦	村田幸多朗	布施学	近藤由香里	山本博文	阿部基	佐藤正典	飯塚寿之	荒城彦一	相澤宗一	佐藤和典	若井恵子	真貝維義	春川敏浩	柄沢均	上森茜	星野正仁	齋木裕司
6月22日	少人数学級の早期実現を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	×
6月22日	義務教育費国庫負担制度堅持・拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	×

○は賛成

×は反対

真貝維義議長は採決に加わりません。

介護



近藤由香里

Q 新型コロナ対策を続ける介護現場をどう支援するか

A 介護現場への感謝と敬意を表し、感染時の協力・連携体制を強化したい

質問 感染者を出さないよう懸命な努力を続ける介護現場に対し、市はこれまでどのような支援を行ってきたか、また今後の支援の在り方について伺う。

回答 これまで情報提供、相談体制の整備、マスク供給等の支援を行ってきた。介護現場への感謝と敬意を表し、事業者間の連携強化を進めるなど、今後も全力で支援したい。

他の質問 持続可能な児童クラブの在り方
災害時の感染拡大をどう防ぐか



動画でチェック



一般質問とは

皆さんの暮らしに関わる大切なことについて、議員が市に対して質問する場です。
あなたはどんなことに興味がありますか？



質問項目はこちら 

産業・経済



佐藤和典

Q 柏崎の基幹産業である製造業へのコロナ禍での支援策は

A 今後も状況を的確に見極めた予算措置を行い、適時適切に長期的な対策を講じる

質問 コロナ禍での現状を踏まえたとき、事業継続に向けた細かい支援策の効果の有無が、将来の柏崎市の命運を左右する。基幹産業である製造業の今後の支援策はどうか。

回答 市独自の上乗せ補助としてものづくり産業雇用維持奨励金の新設を予定、緊急かつ重点的に支援する。今後も状況を的確に見極めた予算措置と長期的な対策を講じる。

他の質問 「強く、やさしい子ども」は柏崎の宝



動画でチェック

まちづくり



飯塚寿之

Q 危機の本質共有と出口戦略、新しい生活様式とまちづくり

A 危機とは生命と平時を維持するシステムの崩壊。「転んでもただでは起きない」

質問 新型コロナの危機の本質は何か。今後の安心、安全のまちづくりへ重点的に検討、挑戦すべき課題は何か。

回答 想像力を働かせ、システムの脆弱性を見直す。感染症に対応する社会に変革せざるを得ず、元の社会に戻ることは意味がない。量より質の時代を意識し「転んでもただでは起きない」精神で市民と共に臨みたい。

他の質問



動画でチェック

学校教育



重野正毅

Q 教育機会格差解消への対策としてのオンライン授業

A オンラインによる学習を試行している学校の実践を集めつつ他校にも紹介する

質問 オンライン授業等への可能性や必要性、環境整備について市の見解を伺う。

回答 G I G Aスクール構想による端末や通信環境の整備を予定している。学級・学校による差がなく授業ができるよう情報交換、研修を進めていく。オンライン環境の充実は、遠隔での学習がかなうだけでなく、意思の疎通や合意形成を図ることができる。

他の質問



動画でチェック

地域経済



春川敏浩

Q 新型コロナにおける本市の現状と対策

A 回復するには時間を要するが、市独自の支援制度等を創設し対応している

質問 商工会議所の調査によると、全産業の65%に影響が出ているとされ、深刻な状況。有効求人倍率も1.00倍と県平均より低い。市内事業者の現状と経済対策は。

回答 全業種の平均売上減少率は約60%。宿泊業、飲食サービス業を中心に大きなダメージを受けている。今後、製造業への対応などを含め、適時適切に必要な支援をしたい。

他の質問



動画でチェック

医療



樋口良子

Q 国の財政支援を拡充しPCRなど検査数を増やすべきだ

A 医師会の尽力でPCR検査センターが開設された。経費不足時は国県に要望する

質問 緊急事態宣言が解除されたが、第2波などの感染拡大に備えた対策が必要。迅速かつ的確に検査が受けられるよう国の財政支援の強化が不可欠だ。

回答 徐々に体制も整えられ、検査数も増えると考えられるが、マンパワーの確保や安全には十分な配慮が必要。やみくもに検査数を増やしていけばよいものではない。

他の質問

9月入学



動画でチェック

観光



相澤宗一

Q 観光は柏崎の元氣、経済復活のためにも必要な業界

A 大きな影響を受けている関係者のモチベーションを上げていくことが優先

質問 現在策定を進めている観光ビジョンは、新型コロナや自然災害の対応を踏まえざるを得ないと思う。策定に関して所見を伺う。

回答 新たな視点として、今回の経験を踏まえた新しい生活様式を見据えた感染症予防と両立する観光の取り組みが重要。それぞれ事業者のアイデアをまとめながら進めたい。

他の質問

柏崎ファンとともに進む



動画でチェック

医療



佐藤正典

Q 新型コロナへの
公的機関が果たす役
割と責任は

A 中心的役割を担う保健所と
医療機関の調整役として、
市組織の機能強化が課題

質問 新型コロナ対策として、保健所の機能強化と病院・医療体制の確保を国・県に要望し、市の各分野での組織体制の維持・強化を行うことが必要ではないか。

回答 医療機関支援について県に要望を行っている。保健所・医療機関への協力と調整役を積極的に果たしていく。突発的な災害対応のため、市の組織強化に継続的に取り組む。

他の
質問



動画でチェック

障がい



布施 学

Q コロナ禍におけ
る障がい者雇用と農
福連携

A 障がい者活躍推進事業を実
施し農福連携も含めてフォ
ローを行っていく

質問 新型コロナの影響は製造業へも影響が出ており、障がい者就労作業所等では問題が深刻化している。今こそ農福連携が必要と考えられるが見解を伺う。

回答 新潟県が行う農福連携コーディネーター配置事業の動向を注視する。本市としても、障がい者活躍推進事業を実施しており、幅広くフォローを行う。

他の
質問

第二種原動機付自転車導入
海の大火火大会の中止



動画でチェック

財政



荒城彦一

Q 財源確保と健全
な自治体経営

A 全市町村が参加するような
規模が必要

質問 平素の備えとして、疫病基金の創設、疫病保険または共済の創設と加入、疫病特別所得税の課税、クラウドファンディングの活用などの4点を提案したい。

回答 斬新なアイデアだが、このような取り組みは一つの自治体のみで実施するより、県内全市町村が共同で取り組むなど、一定程度の規模が必要であると思われる。

他の
質問



動画でチェック

教育



持田 繁義

Q 学生支援を強化
し全ての学生を対象
に学費減免の実現を

A 学生が安心して勉学に励む
ことができるよう、必要に
応じて国に働き掛ける

質問 5人に1人の学生が退学を検討との調査もある。学生支援給付金は学生の1割にしか届かず改善が必要。学生の向学心、将来展望を損なうことは日本全体の大きな損失。

回答 新型コロナの影響が長期化している中で、学生の不安感がうかがえる。市は国のように直接的な給付はしないが、状況を見守りつつ、必要に応じて国に働き掛ける。

他の
質問

原発・エネルギー政策の根本的
な問題 ほか



動画でチェック

ギカイのうごき

CHECK!

1

議会改革に向けて

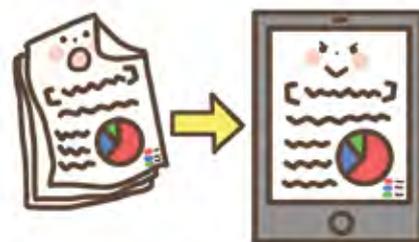
～ICT推進委員会を設置しました～

ICT^{*1}推進委員会は、議会内の情報伝達の確実性の向上、議会の見える化、議会運営に関わるさまざまなコスト削減、デジタル予算書や新庁舎の新たなシステム対応などの課題に向け、以下の事項を協議します。

- ペーパーレス・文書共有システムの導入と有効活用
- 新庁舎議場などでの新システムの活用方法
- オンライン会議（遠隔会議）などによる議会内の情報伝達向上と協議の効率化
- SNS^{*2}の活用や広報紙との連動による情報発信力の向上と議会の見える化

このうちペーパーレス・文書共有システムは、議員全員が膨大な資料や議会運営の書類を「紙」ではなく「データ」で活用することにより、資料の印刷と配布、情報の検索などの『手間』を削減できる仕組みです。

ICT推進委員会は、ペーパーレス・文書共有システムの導入・有効活用が議会改革の一つの成果となっていくよう、調査・研究を進めていきます。



*1 ICTとは「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略で、通信技術を活用した情報の交換や意思の疎通を意味する。

*2 SNSとは「Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」の略で、インターネットを介して人間関係を構築できるサービスの総称

CHECK!

2

意見書3件を可決

5月随時会議において、新潟県立柏崎工業高等学校再編整備計画に関する意見書（案）を、全会一致で可決しました。

また、6月定例会議において、少人数学級の早期実現を求める意見書（案）および義務教育費国庫負担制度堅持・拡充を求める意見書（案）を、賛成多数で可決しました。

CHECK!

3

永年勤続議員表彰

このたび、次の議員が、全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から永年勤続議員として表彰されました。

真貝 維義 議員（25年）





定例会議の予定



変更の場合はホームページでお知らせします。本会議は午前10時に開会します。

日	月	火	水	木	金	土
9/6	本会議 議案説明・質疑・付託 3常任委員協議会	委員会 産業建設・文教厚生・総務 (議案補足説明)	委員協議会 産業建設・文教厚生・総務 (論点整理)	本会議 一般質問	本会議 一般質問	12
13	本会議 (一般質問・予備日)	委員会 産業建設	委員会 産業建設	委員会 文教厚生	委員会 総務	19
20	(敬老の日)	(秋分の日)	(委員会・予備日)	本会議 委員長報告・採決 (公営企業会計決算採決)	委員会 決算特別委員会 総務分科会	26
27	委員会 決算特別委員会 総務分科会	委員会 決算特別委員会 総務分科会	委員会 決算特別委員会 産業建設分科会	委員会 10/1 決算特別委員会 産業建設分科会	委員会 決算特別委員会 文教厚生分科会	3
4	委員会 決算特別委員会 文教厚生分科会	(決算分科会・予備日)	7	委員会 決算特別委員会	本会議 委員長報告・採決	10



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議、委員会の傍聴をご遠慮いただく場合があります。本会議・委員会は、インターネット中継でご覧いただけます。



詳しくはコチラから



無料アプリ「マチイロ」をご利用ください



スマートフォンやタブレットで、手軽に「ギカイのとびら」を読むことができます。



iPhoneの方



Androidの方

■音声訳・点字訳の市議会だよりもあります

編集後記

新型コロナウイルスの影響で、高校生の夏のインターハイや甲子園大会も中止になりました。特に3年生にとっては部活動の集大成となる大会です。選手のことを考えると元高校球児の私としても言葉になりませんが、春のセンバツの代替試合が8月10日から甲子園で交流試合として行われますし、新潟県高野連が独自の代替大会を決定しました。選手の皆さんにエールを送ります。

議会広報広聴常任委員

山本 博文

次回発行は11月20日
お楽しみに

柏崎市議会

検索

議会広報広聴常任委員会

委員長 佐藤正典
副委員長 布施 学
委員

三宮直人 重野正毅 樋口良子
星野幸彦 山本博文 近藤由香里
若井恵子 春川敏浩 柄沢 均